

新着図書案内

2016年2月号

New Accession to the Library of JAN



『異類婚姻譚』
本谷有希子 著
第154回 芥川賞受賞。結婚4年の専業主婦を主人公に、他人同士が一つになる「夫婦」という形式の魔力と違和を、軽妙なユーモアと毒を込めて描く。



『つまをめぐらば』
青山文平 著
第154回 直木賞受賞。去った女、逝った妻... 臉に浮かぶ、獐猛なまでに美しい女たちの面影は今なお男を惑わせる。江戸の町に乱れ咲く男と女の性と業。



『また同じ夢を見ていた』
住野よる 著
『君の臓腑をたべたい』の著者が贈る、待望の新作。“今”がうまくいかない全ての人たちに送る物語。



『死んでいない者』
滝口悠生 著
第154回 芥川賞受賞。秋のある日、大往生を遂げた男の通夜に親類たちが集った。生の断片が重なり合った永遠の時間を描く奇跡の一夜の物語。



『僕は何度でも、きみに初めての恋をする』
沖田 円 著
それぞれが抱える痛みや苦しみを分かち合っていくセイとハナ。しかし、逃れられない過酷な現実が待ち受けていて…。優しさに満ち溢れたストーリー。



『倒れるときは前のめり』
有川 浩 著
有川浩初のエッセイ集！デビュー書籍刊行前の2003年～現在までの、想いがこもった全94本＋小説2編。



『日本病』
金子 勝 / 児玉龍彦 著
バブルとショックの悪循環からの「突破口」はあるのか？経済学と生物学の視点から、大転換期を生き延びる方法論を提示する。



『南海トラフ地震』
山岡耕春 著
日本列島の宿命ともいえる巨大地震。いつ来るのか。何が起きるのか。どう備えるのか。第一人者が語る。



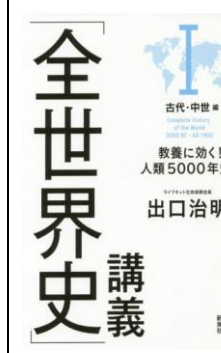
『ニュートリノって何？』
青野由利 著
ニュートリノに質量がある！の何がそんなに事件なの？ニュートリノの解明が宇宙や人類の成り立ちの研究にもたらすものとは？



『生存教室』
内田樹/光岡英稔 著
人気コミック『暗殺教室』に武道家であり思想家の内田と武術家の光岡が着目。生き残るための文化、知性とは何かを語る。



『ローカル志向の時代』
松本桂子 著
都市、農村、フラット化、新たな自営、地場産業、地域経営etc. 時代は変わる。意識も変える。いま、地域が面白いのはなぜか。社会・経済を示唆する「小さな変化」を読む。



『全世界史講義』 I・II
出口治朗 著
「教養の達人」のライフワーク、ついに登場！文明が誕生してから現在までの歴史を一気読み。読めば世界がひとつに繋がる！

書名	著者	出版情報
京都の歴史を歩く	小林文弘	岩波新書
中世社会のはじまり	五味文彦	岩波新書
日本にとって沖縄とは何か	新崎盛暉	岩波新書
ユーロ危機とギリシアの反乱	田中元香	岩波新書
姜尚中と読む夏目漱石	姜 尚中	岩波ジュニア新書
震災学入門	金菱 清	ちくま新書
刑罰はどのように決まるのか	森 炎	筑摩選書
免疫が挑むがんと難病	岸本忠三	ブルーバックス
食をめぐるほんとうの話	阿部尚樹	講談社現代新書
羊と鋼の森	宮下奈都	文藝春秋社
王様ゲーム 深淵 8. 0 8	金沢伸明	双葉社
浮雲心霊奇譚 2	神永 学	集英社

